

宮教大インターネット天文台通信

IT・天文教育等に関する新しい教材や実践的授業募集中！

今年の夏は暑かったですが、昨年に比べ天候に恵まれ夜空を見上げる機会も増えたのでは。さて、今回は、夏休み期間中の様々な活動をご紹介します。

活動報告

小学校の先生による太陽、金星、月、恒星を観察会の実施を行いました

さる、8月9日、宮教大にて、宮教大、齋藤正晴君(修士2年)、千島拓朗君(4年生)が望遠鏡を操作し、宮城県内の小学校の先生方に昼間でも観察できる星の観察会を実施しました。参加された先生は総勢8名、月、金星、カペラ、太陽を、観察しました。午前11時頃の昼間でしたが、「月、金星は、淡い白色でぼやけた感じ」であるのと対照的に「恒星は、針で刺した穴から光を覗くような輝き」とのこと。ただし、接眼レンズを通しての観察なので、恒星の光を捉えるまでが難しく、まるで、見えたか見えないか「踏み絵をしているような思い」とも。それ故、見えたときの感動(あるいは安堵か～)はひとしおです。最後に太陽の観察では、口径を絞り、接眼部に白色用紙をかざして、黒点の位置を観察しました。

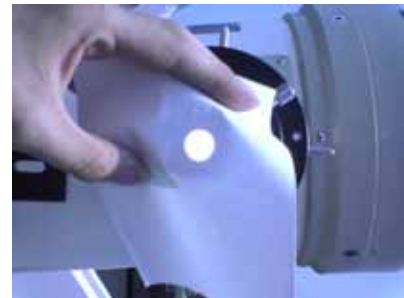
これらの実験観察もスライディングルーフが設置されて望遠鏡が固定されたからこそ、可能となっています。今後とも、ご活用頂ける機会があれば是非ご利用ください。



昼間の金星



太陽の黒点観察



太陽と黒点

八木山小学校「親父の会」主催 お泊まり会 宮教大望遠鏡を活用して星空観察！

7月24日(土)、八木山小学校において、「八木山おやじの会」企画のお泊り会がありました。その中でイベントの1つとして、天体観望会を行ないました。宮教大の移動型望遠鏡2台を利用し、月や木星、星の話を6-7人のグループ、15グループほどの子どもたちに聞かせました。グループごとに観察をする形を取ったため、時間は5分程度ですが、子どもたちから「月ってこんなにポコポコしてるんだ～」や「木星って思っていたよりも小さく見える」、「星座を考えた人はすごいなあ」という声が聞かれました。おやじの会のメンバーや子どもたちの父兄の皆様からは、天体観望会に関して「子どもたちに貴重な体験をさせていただいてありがとうございます」という感謝の言葉をいただきました。今後も、どんどんこのような活動をしたいと思っております。(文責 中堤康友)

松下真人さん、山梨県立科学館でがんばっています！

昨年宮教大修了の松下真人君が山梨県でがんばっています。関東にお出かけの際は山梨科学館に是非応援に行ってお越しください。

山梨放送出演 2004年8月10日放送分：『雷なんか怖くない！知って得する！安全対策』

<http://www.ybs.ne.jp/TADAIMA/tue.html> <雷博士として生出演！元気な顔写真入りです>

山梨日日新聞 9月7日はっけん！！挑戦・・・月の模様

9月14日はっけん！！挑戦・・・月の科学 http://www.sannichi.co.jp/SHIRYOKAN/04_09.html

中秋の名月は、台風の影響でみられませんでしたね・・・月についてコラムを書いています。

向山高等学校サイエンスパートナーシップで望遠鏡製作に望みました。

6月26日宮城県立向山高等学校と宮教大とのサイエンスパートナーシッププログラム(SPP)で、向山高校2年生10人を対象に天体望遠鏡の仕組みを学習しました。天体が拡大して見える仕組みを学ぶために光学レンズを利用した実験を実施後、簡易望遠鏡(オルビス社スピカ)を組み立ててみました。夜間観測までできなかったのが残念ですが、後日、観測会を設ける方向で検討中です。

お知らせ**新しい仲間が増えました。**

岐阜大学附属小学校の酒井茂先生、北角田中学校の佐藤拓也先生が勉強会にご参加くださいました。

酒井先生は、岐阜大学教育学部の川上紳一先生らとともに、天文教育について様々な新しい実践教育をなさっておられます。

ちなみに、川上紳一先生は、10月2日宮教大主催フレンドシップ公開シンポジウムにて「教科専門からみた教科教育」と題して講演を賜ります。シンポジウムの詳細は以下の通りです。どなたでも、ご参加頂けますので、是非ご来場ください。

Let's サイエンス2004 シンポジウム

場所：宮城教育大学2号館220教室

日時：午後2 - 6時

プログラム詳細は、<http://koho.miyakyo-u.ac.jp/rika/information/img/friendship2004-symposium.pdf>

佐藤先生は、9月から来年2月まで、内地留学制度で東北大学理学研究科岩石学研究室に所属し隕石のデータベース教材化などの研究をされます。隕石自体、学校教育の中では馴染みがありませんが、地球・惑星・宇宙の科学の解明の中で隕石研究が果たしている役割は大きいです。そのようなことから、学校カリキュラムの中で幅広い活用が考えられるということに着目されています。さらに、本学のインターネット望遠鏡を活用した授業研究などもされる予定です。

科学研究費ご活用ください。

前号でお知らせしましたとおり、私たちの星空観察ネット勉強会の活動に、H16年から2年間にわたる科学研究費がついています。「星空観察ネット-グローバル・リアルタイム天文教育情報-の実践的開発・提供」IT教育、理科・天文教育というキーワードで新しい教材開発ならびに実践的授業などの開発に向け、研究教育活動、例えば、物品の購入、学会研究会参加・発表等の旅費などに、どんどん、ご利用ください。ご連絡お待ちしております。

連絡先 : 宮教大インターネット天文台事務局(mueit01@yahoo.co.jp)

今までの活用事例を、星空観察ネットの広場 (<http://www.hosizora.miyakyo-u.ac.jp/>) でご紹介しています。是非、ご覧下さい。

2 高田 メール toshiko@miyakyo-u.ac.jp
TEL 022-214-3415
FAX 022-211-5794